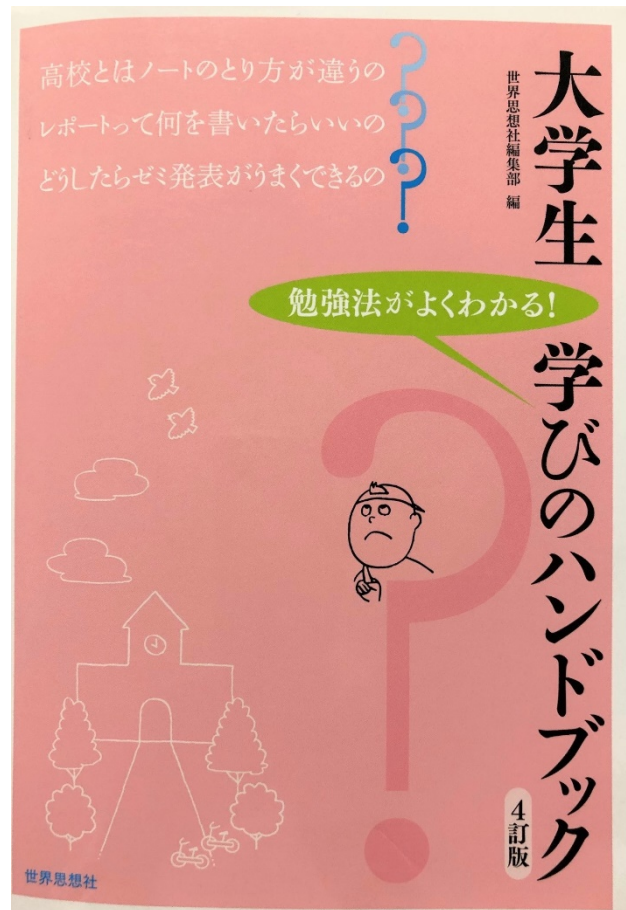


はじめての大学生活



聖隷クリストファー大学 学習支援室

20200603宮前

高校と大学の違い

- ▶ **時間割は自分で作る！**
受ける授業を自分で選んで「自分だけの時間割」を作る
- ▶ **大学にはホームルームがない**
学生が自分で決めた時間割に従って教室を移動する
- ▶ **「自由」だけど「責任」も生まれる**
必要な授業の確認や授業の登録（履修登録）などは自分の責任で行う。 何事も自発性が必要。

世界思想社編集部：大学生学びのハンドブック第4版,2018,p.9

高校と大学の違い

高校		大学
クラスごとに時間割があり、受ける授業が決まっている。	時間割	受ける授業を自分で選んで登録し、自分だけの時間割を作る。
クラスごとに決まった教室があり、科目ごとに先生が教えに来る。	教室	自分で選んだ授業ごとに違う教室に移動する。
50分	授業時間	80～90分

時間割を決める

4年間で必要な単位を満たすように選ぶ。卒業に必要な単位数を確認し、1学期当たりの単位数、科目数を決める。

▶ 必修科目から埋めてバランスよく

必ず履修しなければならない必修科目、資格を取るために必要な科目があるので、シラバスをよく読み、必要な授業から時間割を埋め、次にそれ以外の授業を選んでゆく。

▶ 時間割を決めたら履修登録。

登録しなければ単位は取得できない。

▶ 大学の授業は予習・復習が前提

1単位は「45時間の学習をする内容」と決められている。

大学では1回80、90分の授業につき、4時間の自習が求められている。

いよいよ授業のスタート

大学の授業、3つの形式

形式	規模	内容
講義	大人数	先生が教壇に立って授業をする。 一般に1、2年次の全学共通科目に多い。 → ノートの取り方
ゼミ (演習)	少人数	学生が調べてまとめたことを口頭発表し、それについてみんなで議論する。 一般に3、4年次の専門科目に多い。レポート課題もよく課される。 → レポートの書き方 → ゼミ発表の仕方
実習 ・ 実験	少人数	実際に体験したり、仮説の検証のために調査や実験をしたりする。 調査や実験の結果はレポートにまとめる。 → レポートの書き方

参考文献：

世界思想社編集部 編：大学生 学びのハンドブック 第4版,2018, p.9-11
(¥1200+税)

